

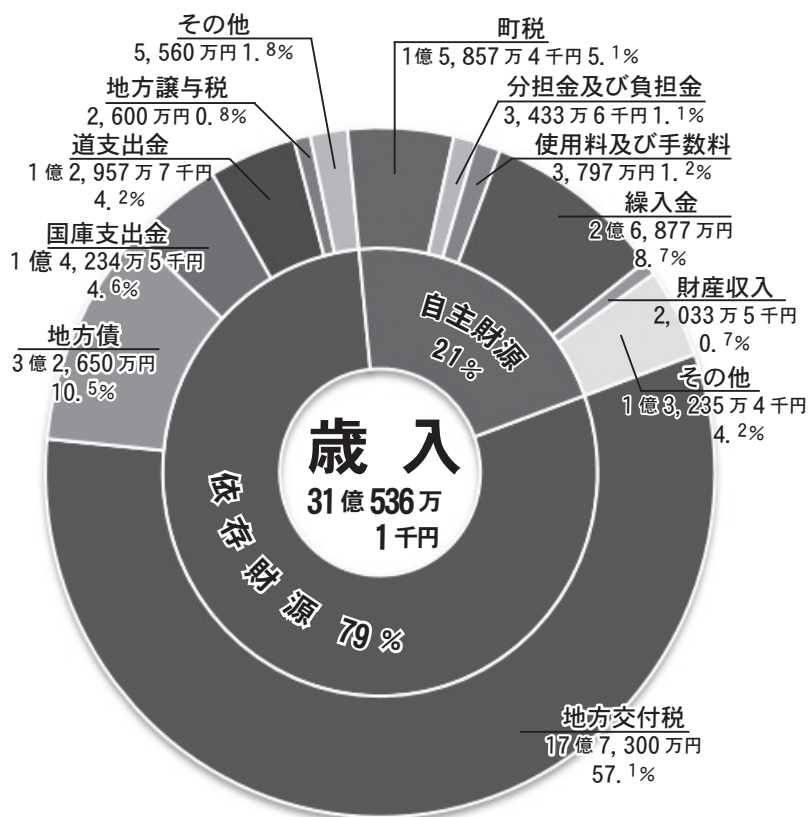
令和5年度 まちの予算の概要

“基金” 取り崩し 2億6,743万7千円!!

一般会計 31億 536万1千円 (前年度比4.3%、1億2,915万8千円増)
 特別会計 5億 527万2千円 (前年度比20.5%、8,606万6千円増)
 総額 36億 1,063万3千円 (前年度比6.3%、2億1,522万4千円増)

(千円)

会計別	区分	R5 予算額	R4 当初予算額	比較		備考
				増減額	増減率 (%)	
一	般 会 計	3,105,361	2,976,203	129,158	4.3	特別会計繰入金 182,852
特 別 会 計	簡 易 水 道 事 業	122,186	77,864	44,322	56.9	一般会計繰入金 23,312
	国民健康事業 勘定	120,546	122,422	▲1,876	▲1.5	" 39,038
	保険事業 直診 勘定	99,300	74,238	25,062	33.8	" 26,509
	下 水 道 事 業	70,392	55,238	15,154	27.4	" 46,656
	介護福祉サービス事業	47,560	45,711	1,849	4.0	" 28,894
	後期高齢者医療	45,288	43,733	1,555	3.6	" 18,443
特 別 会 計 合 計		505,272	419,206	86,066	20.5	" 182,852
合 計		3,610,633	3,395,409	215,224	6.3	



一般会計予算の概要

■「健全財政の維持」と「公共行政サービス水準の維持」と「地域の活性化」の3つの課題の両立と克服を目標に、

- ① エネルギー・物価高騰の影響に伴う公共行政サービス水準低下の回避
- ② 地域公共交通維持対策の推進
- ③ 国・道・民間資金等「地方支援制度」の機動的な活用
- ④ 「子ども・子育て支援」の充実
- ⑤ 「防災・減災対策」の推進
- ⑥ 「公共施設の老朽化対策」の計画的な推進
- ⑦ 新しい人の流れによる関係人口の創出・拡大と地域コミュニティの再生
- ⑧ 「半島先端の価値の創生」へ導く官民連携の促進
- ⑨ ゼロカーボン北海道への寄与

などの国や道の基本的・共通的な施策の動向も勘案して、総額31億536万1千円の予算としました。

(目的別歳出)

(千円)

区 分	R 5 予算額	R 4 当初予算額	増減額
議 会 費	62,028	60,135	1,893
総 務 費	965,200	997,268	▲ 32,068
民 生 費	407,444	380,385	27,059
衛 生 費	322,379	173,806	148,573
労 働 費	5,354	7,467	▲ 2,113
農 林 水 産 業 費	148,966	214,350	▲ 65,384
商 工 費	143,835	154,688	▲ 10,853
土 木 費	240,838	172,306	68,532
消 防 費	198,426	196,533	1,893
教 育 費	204,055	204,861	▲ 806
公 債 費	405,052	412,520	▲ 7,468
そ の 他	1,784	1,884	▲ 100
合 計	3,105,361	2,976,203	129,158

(歳入のうち増減額が大きいもの)

(千円)

区 分	R 5 予算額	R 4 当初予算額	増減額
町 税	158,574	165,278	▲ 6,704
普 通 交 付 税	1,570,000	1,520,000	50,000
特 別 交 付 税	203,000	165,000	38,000
ふ る さ と 納 税 寄 附 金	65,000	70,000	▲ 5,000
企 業 版 ぷ る さ と 納 税	4,095	8,578	▲ 4,483
ク ラ ウ ド フ ァ ン デ ィ ン グ 型 ぷ る さ と 納 税	9,500	0	皆 増
基 金 繰 入 金	267,437	200,958	66,479
過 疎 対 策 事 業 債	255,600	157,400	98,200
臨 時 財 政 対 策 債	7,000	33,000	▲ 26,000
緊 急 防 災 ・ 減 災 事 業 債	23,200	47,700	▲ 24,500
そ の 他 (地 方 債 を 含 む)	541,955	608,289	▲ 66,334
合 計	3,105,361	2,976,203	129,158

(令和4年度から予算を繰り越して実施する事業)

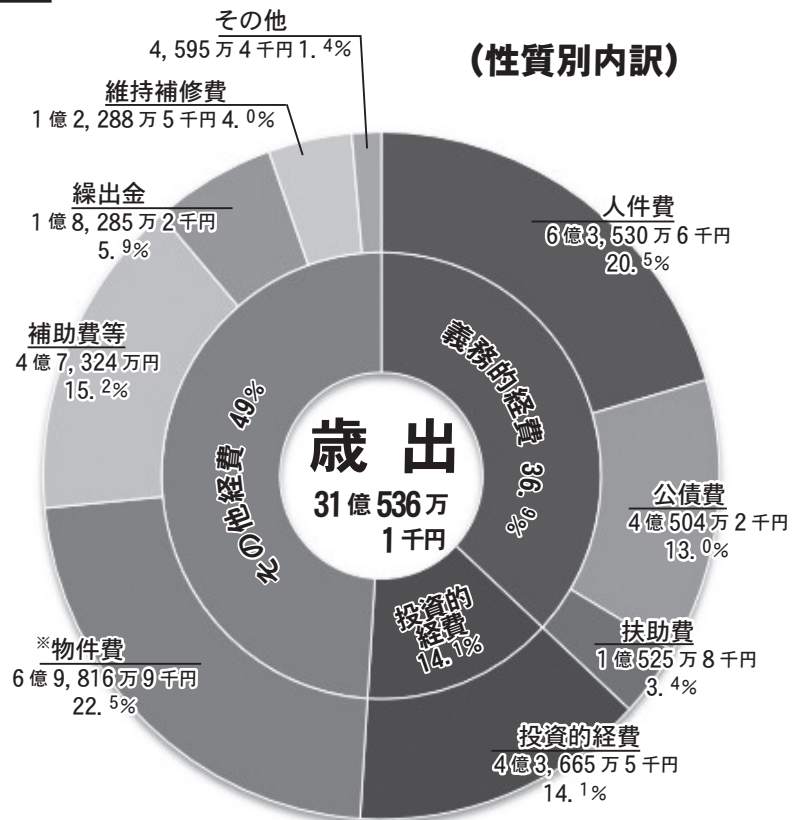
(千円)

会計	事業名	事業費
一 般 会 計	地域経済循環創造事業 (国の岬の湯改修助成)	46,875
	美国小学校暖房設備 更新事業	12,000
合 計		58,875

※この事業財源は、令和5年度へ繰越留保されます。

美国～余別間交通体系構築関連事業予算や当初予算案に計上できなかった事務事業については、令和4年度特別会計赤字額の実績、7月の地方交付税の状況、国・道補助金と過疎対策事業債等の採択内示の状況など、年度途中の歳入財源確保の見通しを踏まえて、特に国費等補助金を要望中の急がれる諸課題の解決に役立てることで、懸案事業の早期着手に努めます。

(性質別内訳)



※物件費：旅費、需用費、委託料等消費的性質の経費

令和5年度予算 主な事務・事業

第5次総合計画の5つの基本目標に沿った、令和5年度の主な事務・事業を紹介します。

1 豊かな郷土で自ら学び、地域文化を育むまちづくり『生涯学習』

学校教育推進事業【継続】 1,373万円
外国語指導助手（ALT）や特別支援員（小学校3名・中学校1名）の配置。

スクールバス整備事業【新規】 510万円
平成21年に購入したスクールバスの更新。

教育実習生受入事業【新規】 37万円
北海道教育大学の教育実習生を受け入れるための住環境を整備。

子どもの安心・安全対策支援事業【新規】 80万円
スクールバスへ子どもの置き去り事故防止安全装置を設置。

2 地域ぐるみでつくる健康、支えあう福祉のまちづくり『町民福祉』

びくに保育所改修事業【継続】 2,200万円
照明器具LED化やフェンス等の改修。

子ども医療費助成事業【継続】 278万円
18歳までの医療費自己負担の無償化。

高齢者の保健・介護予防事業【継続】 総事業費 1,036万円
後期高齢者の「保健事業」と「介護保険事業」を連携推進。

国保診療所医療機器整備事業【新規】 2,630万円
自動血球計数器、LED内視鏡システム、超音波診断装置及び電子カルテの導入整備。

3 自然と共生し、安全で快適な暮らしを実現するまちづくり『防災・生活基盤・環境』

小泊地区防災避難路整備事業【新規】 1,220万円
小泊野営場駐車場までの避難路・町道改良。

クリーンセンター改修事業【継続】 5,000万円
建設後20年を経過した建物、設備機器等の更新。

河川緊急自然災害防止対策事業【新規】 800万円
河川緊急浚渫推進事業【継続】 500万円
入舸川、日司川、茶津川等の河川維持保全。

防災拠点研修事業【継続】 350万円
美国地区防火用水整備事業【新規】 350万円
消防等防災要員の人材育成研修及び美国市街地の防火用水の流量確保。

4 産業が連携し、豊かな地域資源をまもり活かすまちづくり『産業振興』

水産多面的機能発揮対策事業【継続】 126万円
水産物出荷施設改修事業【新規】 193万円
磯焼け漁場の回復活動への助成及び日司漁港ホッケ選別機保管庫の改修助成。

農業振興対策関連事業【継続】 1,050万円
家畜改良、営農改善、農業機械、乳牛検定、有機農業対策事業の助成。

積丹岳森林レクリエーションエリア機能改善事業【新規】 1,000万円
積丹岳休憩所の改修及び登山道の維持修繕。

5 みんなが主役、未来へつなぐ協働のまちづくり『コミュニティ・行財政』

高等学校生徒通学費等補助事業【継続】 586万円
通学費及び下宿費の原則1万円を超える分の助成。

地域おこし協力隊推進事業 <拡充> 8,640万円
・地域おこし協力隊活動支援：17名予定
【R4継続9名、R5新規8名】
・地域おこし協力隊インターン：5名予定

地域魅力向上・発信事業【新規】 110万円
積丹町出身の世界的造形作家によるフィギュア（ゴジラ）等の作品展示会や講演会。

第1管区海上保安本部／実のなる杜推進協議会 「神威岬灯台協力団体」に指定

町内外の観光関連事業者で構成する※「実のなる杜推進協議会（岩井宏文代表・構成…町内外事業者6社）」が、神威岬灯台の観光資源化と維持管理に協力する「航路標識協力団体」として第1管区海上保安本部（小樽市）より指定を受けました。

今回の指定は、同会を含む町内産業経済団体・町で構成する積丹町地域活性化協議会による「神威岬灯台第一等不動レングズ」里帰り誘致運動やその観光資源化へのこれまでの努力が高

く評価されたもので、石狩灯台（石狩市）、鷗島灯台（江差町）、宇登呂灯台（斜里町）に次ぐ道内4団体目、後志管内では初の指定となりました。今後は、同本部より、灯台の啓発や活用等の活動に対する情報提供や支援等が受けられます。

指定証が交付されました。岩井代表は「灯台の歴史に興味のある人はたくさんいると思う。積丹応援団が協力して、今後の積丹町の観光業の大きな柱にした」と熱い抱負を語っていました。

また、指定を機に、神威岬灯台の一般公開や灯台の歴史・文化を学ぶガイドツアーなどの計画を検討して、当町の新たな体験型観光振興による町の活性化に貢献したいとしています。

航路標識協力団体指定証交付式



▲岩井代表（左）、飯塚本部長（右）

※実のなる杜推進協議会

積丹町の気候風土や豊富な地域資源を活用して、地域の「稼ぐ力」や「地域の価値」の発見・向上を目指す地方創生の具体的な取組に挑戦することを目的に、町内外の積丹応援団で構成する任意団体。

優れた活動を認定！ “積丹町観光サポーター”

町では、平成27年度から、積丹町の魅力について、幅広く情報発信活動を行っていただく「積丹町観光サポーター事業」を実施しています。情報発信の方法は、SNSの活用のほか、ラジオやテレビ、新聞・雑誌への投稿やポスターの掲示、パンフレットの設置、各種会合での積丹町の宣伝など、観光サポーターの自主性に任せています。

この度、3月に開催された選考会議（構成…積丹町商工会・（一社）積丹観光協会・積丹町）で、柴田直樹さん（札幌市）を優れた活動を行ったサポーターとして認定しました。

町では、これからも、町内外を問わず、『積丹応援団』として町の魅力や情報を積極的に発信していただく観光サポーターの登録者を募集しておりますので、ぜひご参加ください。

認定者	活動内容
柴田直樹 (札幌市)	①積丹町の景勝地やニュースを同氏の写真ブログ「北の幻想風景」(https://d73h4xyg.seesaa.net/)で紹介 ②SONY 写真掲載サイト「α cafe」に積丹町の写真を複数枚掲載 ③札幌市内で写真個展開催、積丹町の写真を展示 期間：令和4年11月15日（火）～11月20日（日） ④令和3年度・第33回積丹観光フォトコンテスト 準グランプリ

町内小中学校で卒業式

～最高の仲間たち、ありがとう～

町内小中学校で「卒業証書授与式」が行われ、それぞれの校長先生から卒業証書が手渡されました。仲間との別れに涙を流す卒業生や我が子の成長に目を潤ませる保護者の姿がありました。



美国中学校（卒業生7名・3月15日）



野塚小学校（卒業生3名・3月17日）



余別小学校（卒業生1名・3月18日）



美国小学校（卒業生7名・3月20日）



また、午後の部では、町民の皆さんが日頃から防災・減災について考え、災害時に助け合えるきっかけを作ることとを目的としたイベント「かだるフェ

交流会では、栗山町立北海道介護福祉学校の講師と、生徒による「災害時、認知症の方と一緒に避難だGO!」と題した講演と老人クラブ連合会会員の皆さんによる歌や舞踊が披露され、久しぶりの交流を楽しみました。

令和4年度老人クラブ連合会交流会が3月18日、総合文化センターで4年ぶりに開催され、町内各地区の老人クラブ会員など63名が参加し、交流を深めました。

老人クラブ連合会交流会 & NHK多世代交流防災イベント 「かだるフェス」を開催!

「地域ミーティング#みんなで助かるために」と題したグループワークが行われ、災害時の課題やスムーズに避難するために必要な支援について意見を出し合い、近年頻発化、激甚化する災害への対応を学びました。また、同学校で介護福祉士を目指す学生もグループワークに参加し、積丹町の課題や現状と一緒に学んでいました。

今回のイベントを通して、町民の皆さんが災害時の「自助」と「共助」の意識を高め、地域防災力の向上と協働のまちづくりの醸成につながることを期待されます。

